

Topics

二峡小の手塚さんが、
わんぱく相撲女子全国大会
東京代表選抜チームに
選出されました！

7月23日、第二峡田小学校5年の手塚陽葵さんがわんぱく相撲女子全国大会東京代表選抜チームに選出されたことを、西川区長へ報告に訪れました。また、東京代表として出場したわんぱく相撲女子全国大会でも力を発揮しました。



▲西川区長に報告をする手塚さん

中学校ワールドスクール

8月3日～6日、秋田市で区内の中学2・3年生対象の中学校ワールドスクールが行われました。生徒たちは、国際教養大学の「イングリッシュ・ビレッジ」プログラムに参加し、自分たちの英語力を生かした効果的なプレゼンテーションやコミュニケーションの方法を留学生や大学院生から学びました。また、秋田市の協力で枝豆収穫の農業体験や市内観光などを行いました。参加した生徒たちは、英語について興味・関心を高めたり、自然体験や文化に親しむ貴重な体験をしました。



▲グループごとに英語で授業



▲英語でのプレゼンテーションも行いました

作・かずき伊緒



※荒川区にはたくさんのお湯があり、イベントも開催しているよ。

あらかわ少女☆ゆいちゃん

あらかわ 今昔ものがたり
日 [ばしょうくと旅する奥の細道]

【問合せ】荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234



義経・弁慶の最期の地・平泉を訪ねる

8月24日に荒川ふるさと文化館に「奥の細道と千住コーナー」が誕生したよ。みんな見てくれたかな。今回は、芭蕉さんが大ファンだった牛若丸こと源義経と、家来の弁慶が合戦に敗れて亡くなった平泉(岩手県)のお話だよ。

義経と弁慶の出会い 義経は、平安時代の終わりに京都で生まれた源氏の御曹司で、幼名は牛若丸。平清盛率いる平氏から守るため、鞍馬寺に預けられた。天狗に育てられたと言われ身のこなしが軽かったんだ。この頃、太刀を奪い目標の千本を目の前にしていた弁慶が五条の橋で牛若丸に出会う。牛若丸の太刀を奪おうとするが、舞うようにかわされ、降参し家来になった。その後義経を名乗り、奥州(東北)を治めていた藤原秀衡の平泉の館に移り暮らしていたんだ。平泉は大きな館、中尊寺などが立ち並ぶ大都市だったんだよ。兄の頼朝が平氏追討のため挙兵すると、鎌倉に駆けつけた。特に屋島・壇ノ浦の戦いでの活躍は、目を見張るものがあったんだよ。その後、義経は武士が治める

くづく国作りを目指す頼朝と仲違いをし、追撃を逃れ各地を転々としたんだ。

再び平泉へ そして、青年時代を過ごした平泉の藤原氏の下に身を寄せた。でも、頼朝の圧力に屈した秀衡の子・泰衡が義経たちを責め立てたので、義経・弁慶らは高館(衣川館)に籠もり、自害してしまったんだって。

平泉を詠む 義経は源平合戦の英雄だったけれど、非業の死を遂げ人びとの同情を誘ったんだ。栄華を誇った奥州藤原氏も頼朝に滅ぼされ、平泉の町はほとんど焼失してしまったんだ。夏草や兵どもが夢の跡 芭蕉

芭蕉さんは「平家物語」「義経記」などを讀んだり史跡を訪れたりして、義経への憧れを増していった。そして旅の中で、留まることのない時の流れを感じるようになり、その気持ちを詠み込んだ句を作ったんだよ。

芭蕉さんが目にした元禄時代の平泉の景色を想像してみよう。



「絵入おくの細道」
(大垣市奥の細道むすびの地記念館蔵)